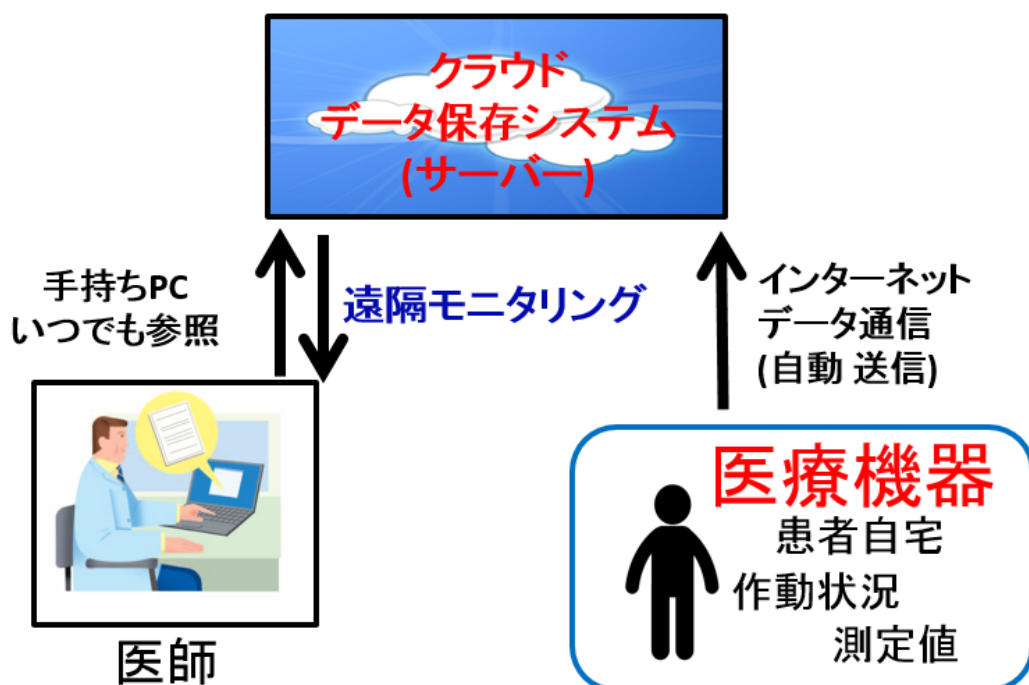


# 在宅持続陽圧呼吸療法の遠隔モニタリング:治療計画説明書

## 1. 遠隔モニタリングの説明

遠隔モニタリングは、情報通信技術の発展に伴って実現できた新しい医療手段です。2018年4月から、在宅持続陽圧呼吸療法にも遠隔モニタリング加算として診療報酬が適用されています。診療報酬で認められた遠隔モニタリングは、常時、患者さんの状態をモニタリングするものではありません。また、現時点では急性増悪を見つけるものでもありません。医療機器にインターネット接続の機能を持たせて、機器の稼働状況や生体情報を専用サーバーに自動保存させ、手持ちコンピュータを用いて、いつでも参照できる仕組みです（下図）。その結果を参考にして、より良い診療を行うための新しい医療技術です<sup>1,2)</sup>。



## 2. 遠隔モニタリングを利用した在宅持続陽圧呼吸療法の実施計画と機器の説明

在宅持続陽圧呼吸療法は、睡眠時無呼吸に対する治療法です。睡眠時に無呼吸があると高血圧、心血管障害、脳血管障害など多くの病気が生じる可能性があります<sup>2)</sup>。治療を受けていただく際に重要なことは、適切に機器を使用して頂いているか、使用時間は十分かなどを医師が確認して、指導させて頂くことです。遠隔モニタリングを行うことによって、在宅持続陽圧呼吸療法の妥当性の検討や患者さんへの適切な指導を実施できます。

遠隔モニタリングに対応した持続的気道陽圧装置を自宅に設置します。この機器自体がインターネット接続機能をもっていますので、自宅にインターネット接続環境がなくても使用できます。特別に何か操作をする必要はありません。

医師は適時、手持ちコンピュータでクラウドデータ保存システムのデータを参照して、何かアドバイスすべきことがあれば、あらかじめ申し出のあった連絡先に電話をします。状況によっては受診を促すこともあります。対面受診のない月にはサーバーに保存されているデータを解析します。臨時の連絡が無ければ、予約された日時に定期受診してください。

## 3. 緊急時の対応

機器の故障に関しては、機器に貼付されているメーカーの連絡窓口に電話してください。体調不良などがあれば当院に連絡・受診してください。

## 参考文献

1. 鯉岡直人, 他. 遠隔診療 (テレケア) の実際. (特集 遠隔医療が目指すもの) Progress in Medicine 38(11): 1175-80, 2018.
2. Murase K, et al. A Randomized Controlled Trial of Telemedicine for Long-Term Sleep Apnea Continuous Positive Airway Pressure Management. Ann Am Thorac Soc. 17(3):329-337, 2020.

上記, 説明・実施計画書を受けて遠隔モニタリングを受けることに同意します。

年 月 日

同意署名

---

説明医師署名

---